

大空に

輪島市立東陽中学校
令和5年2月24日発行 第12号

「厳しい冬を経験し、生きる力を養う」



厳しかった冬がようやく終わろうとしています。積雪と断水により、通常の生活が送れない日もありました。夜を徹して一日中除雪作業を行ってくださった方、断水の原因となっている場所を特定し、復旧作業をしてくださった方、たくさんのお支え「共助」「公助」によって私たちの生活は成り立っています。一方私たちにできることは、「自助」です。最大級の寒波が来ることは、天気予報で伝えられていましたので、たくさんのご家庭で水道管が破裂しない対策をされていたと思います。朝や夜に、家族で雪かきをされていたのではないのでしょうか。経験から予測し、備え、対応する。この「自助」が「生きる力」であると思います。中学生は、大人からの知恵を受け継ぎ、実践し、苦勞をしながら「こつ」をつかむことで経験を重ね、「生きる力」として積み上げていくことも大切な学びであると思います。

厳しい冬を耐えた樹木や草花は、春の芽吹きに向けて準備しています。子どもたちは、この一年間、自分の根をしっかりとる土台作りや、可能性の枝を広げるために幹を太くし、花を咲かせるつぼみを育ててきました。

子どもたちが咲かせる花には、様々な形や色、大きさがあると思います。子どもたち一人一人の歩みの速度は違いますが、着実に成長していることは確かです。今後も、保護者の皆様、地域の皆様には子どもたちの成長を支え、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

インフルエンザが流行しています。健康には十分にご留意され、特に受験生がいるご家庭では、引き続きお子様の健康管理についてご配慮いただきたいと思います。



校長 小島 康志

「いじめを見逃さない」事業実施報告

学校生活における「いじめ見逃しゼロ」を目指し、生徒・教職員・保護者を対象にアンケートを実施しました。結果は以下の通りです。

いじめ認知件数 生徒 0 件
保護者 0 件
教職員 0 件

今後もいじめの見逃しのない学校づくりを目指して、職員一同で生徒達を見守っていきたく思います。お子様に何か気になる様子などありましたら、遠慮なく学校へご連絡下さい。

TEL 東陽中学校 32-0834

おめでとう！

NPO 法人 町野スポーツクラブ
スポーツ奨励賞 受賞
2年生 登岸 結衣 さん



We did it!

日本英語検定協会から、取得率部門で「優秀団体賞」をいただきました。在校生徒数に対する英検取得者数が多い団体に授与される部門です。「少数精鋭」を体現しましたね。皆さんの努力の結果です！おめでとう！

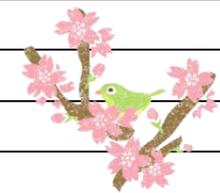


行事予定

2月24日現在の予定です。今後、変更等ありましたらお知らせいたします。



日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	期末テスト(1・2年)	17	金	廊下ワックスがけ
2	木	期末テスト(1・2年)	18	土	
3	金	公開授業・学年懇談会(1・2年)	19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	春分の日
6	月		22	水	
7	火	公立高校学力検査	23	木	
8	水	公立高校学力検査	24	金	修了式
9	木	卒業式予行	25	土	
10	金	卒業式 10:00~	26	日	
11	土		27	月	PTA 監査
12	日		28	火	
13	月		29	水	
14	火		30	木	
15	水	公立高校合格発表 職員会議	31	金	
16	木				



令和5年度新入生対象者 入学生説明会

2月2日(木)に令和5年度新入生対象の入学生説明会がありました。数学と理科の小中合同の体験授業では、6年生に自分から声をかけるなど、中学生の頼もしさが見えました。入学生説明会では2年生が中学校の生活について説明し、部活動や学習時間のことについてアドバイスをしました。

中学生の成長が見られた2時間でした！

合格祈願！

川原農園様より高校合格を祈願して3年生に「合格餅」をいただきました。ありがとうございました！3年生をみんなが応援しています！3年生、頑張り！



ご参観のお礼とお願い！

入学説明会に合わせて行われた授業参観と第2回教育懇話会に多数の保護者の皆様にご参観いただきました。感謝申し上げます！

3年生にとっては、最後の授業参観となりました。話し合いの場面では、どの学年でも、成長した姿をお見せできたかと思えます。

1・2年生は3月3日(金)に公開授業と懇談会を予定しております。学年のまとめと今後に向けて、生徒の様子をお話できる機会となります。

多数のご参加をお待ちしております。



卒業式について

今年度の卒業式も新型コロナウイルス感染症等拡大防止の観点から、来賓・保護者の参列者の人数を制限しております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和4年度 学校評価(最終評価)報告(12月アンケート結果・1月評価委員会から)

【回答】A: と思う B: どちらかと言えばと思う 【数値(%)】最終数値(中間数値)

【評価】A: 非常によい B: よい C: 努力を要する 【赤字】今年度新設の質問項目
【青字】助言により変更した質問項目

(1) 確かな学力の向上

保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	前期評価	最終評価
学校は、学力向上に努力している	86(86)	自分の考えをわかりやすく説明できる	86(75)	A	A
		授業のまとめを自力で書こうとしている	100(90)		
		先生や友達の発問や、話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	91(95)		
		話す、書くなどの表現力が身につけている	95(95)		
		授業振り返り活動は学びの確認や学習意欲につながっている。	95(80)		
子どもには家庭学習の習慣がある	60(62)	毎日の課題や宿題を提出している	76(95)	B	B
		毎日学年目標の家庭学習に取り組んでいる (後期:1年70分 2年100分 3年180分)	81(85)		
子どもは睡眠を7時間30分とっている	67(80)	睡眠を7時間30分とっている。	76(85)	A	B
子どもは朝食を食べている	95(100)	朝食を食べている	95(95)		
子どもは決まりを守って生活している	95(91)				
SNS・ゲーム・ネットの使用について家庭内のルールを作っている	67(62)	ゲーム・インターネットは宿題等とのバランスを考えて使用している。	57(50)	C	C
輪島市のルール(9時以降はしない)や家庭内ルールを守らせている	38(48)				

*赤字数値は昨年度の質問「家庭内ルール」と「輪島市ルール」の数値平均

(2) 主体的に行動できる生徒の育成

保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	前期評価	最終評価
子どもは喜んで学校へ行っている	95(95)	学校は楽しい	95(90)	B	A
学校は行事が充実するように努力している	95(91)	部活動で自分は鍛えられている	100(90)		
		委員会活動や学級活動で、企画・運営することは楽しい	86(90)		
学校は子どもの表現の場を大切にしている	95(100)	集会等で自分の考えを伝えている	76(45)		
		物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある	91(90)		
		難しいことも失敗を恐れずに挑戦している	76(65)		
子どもは自分から挨拶ができる	95(95)	自分から挨拶ができる	100(95)	A	A
子どもは家の手伝いをしている	60(62)	家で手伝いをしている	52(60)	B	B
子どもは将来の夢や希望をもっている	76(76)	将来の夢や希望をもっている	62(70)	B	B
学校は生徒理解に努め、適切に対応している	100(100)	自分にはよいところがある	76(55)	B	B
よいことについては褒めることを大切にしている	91(100)	褒められたり認められたりすることがある。	76(85)		
悪いことについては叱ることを大切にしている	86(95)				

(3) 保護者・地域との絆

保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	前期評価	最終評価		
学校は相談しやすい雰囲気である	100(100)			A	A		
学校は通信等で方針や生徒の様子をわかりやすく知らせている	100(100)						
学校からの通信に目を通してしている	100(100)						
行事があるときは都合をつけて参加しようとしている	95(100)			B	B		
						東陽中学校の生徒であることに誇りを感じる	91(90)
						地域の人たちは、やさしく、深い絆を感じる	100(84)
		将来地元で貢献したいと思う。 (将来地元に戻って働き、生活したいと思う。)	62(30)				

学校関係者評価委員の皆様からのご意見

(1) 確かな学力の向上

①家庭学習の習慣について

- ・家庭でも苦労していると思う。長い子育ても18歳まで。残りわずかな時間で、保護者と子供たちが互いの思いを話す機会が少しでも持てると良い。
- ・勉強そのものが面白いと思えないと、自主的な学習には向かわない。時には競争も大事ではないか。
- ・中学生は将来をまだ十分に考えられないと思う。自分がやりたいことが見つかった時に勉強が必要となる。今やっている学習は、将来の自分への投資だとわかってほしい。

②ネット利用について

- ・家庭の問題でもある。親子で話し合うことも重要である。

(2) 主体的に行動できる生徒の育成

①手伝いについて

- ・親の目からはやっていると感じているが、子供達はそう感じていない。手伝いはよくやっているのではない。数値だけで見ると評価はCだが、Bでよい。

②自己肯定感について

- ・中学生という年代は周りの目を気にする年頃である。自己肯定感が低いのも仕方ないとも言える。
- ・高すぎてもトラブルになることもある。長所短所の両方を自覚して、長所をさらに伸ばせるとよい。バランスが大事である。
- ・自分には良いところがないと思っている生徒への心のケアは大切。個々の様子を見てほしい。
- ・来年こそはコロナ対応が緩和され、生徒が自信を持って取り組める環境が増えると良い。

③将来の夢について

- ・1年生が低いのが気になる。学校だけの問題ではなく、生徒が夢や希望が持てる環境を、大人が考えていく必要がある。

(3) 保護者・地域とのきずな

- ・地域の現状を考えると、地域に貢献しようと思ってくれていることは嬉しい。
- ・地域に対する誇りや愛着があることは良いことである。

(4) その他

- ・講演会では、失敗体験もある方に来てもらうのも良いのではないか。
- ・先生方が「地域でのボランティアと行事活動が充実するよう取り組む」というのは、多忙な状況では厳しい。
- ・教職員の帰宅時間の目標が19:30だが、事務自体が減らなければ意味がない。根本的解決のために県教委・市教委には学校現場の事務削減に取り組んでほしい。